

再興
第104回

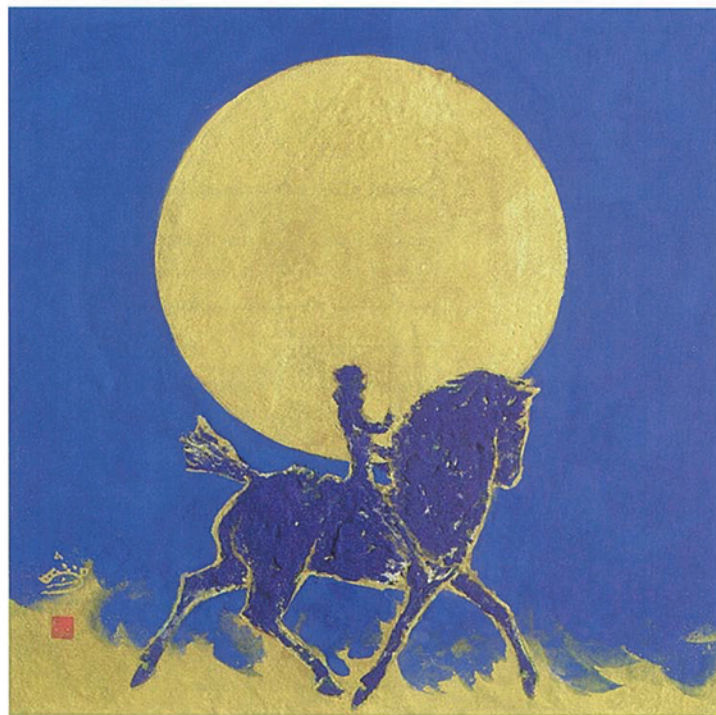
院展

富山展



下田 義寛「優艶のとき」

村上 裕二「月のブルース」



令和2年

2月29日 土 - 3月15日 日

[16日間] ※休館日なし

会場 富山県民会館美術館

開館時間：午前9時30分～午後6時

(入場は午後5時30分まで)

一般：800円(640円) 高校生以下：無料

※()内は20名以上の団体及び前売料金

前売券はアーツナビ(富山県民会館・富山県教育文化会館・富山県高岡文化ホール・新川文化ホール)、
当日券は会場入口でお求めください。

●主催：公益財団法人富山県文化振興財団 富山県民会館、公益財団法人日本美術院、北日本新聞社、
北日本放送 ●共催：富山県 ●後援：滑川市、(一社)富山県芸術文化協会、富山県美術連合会、
富山県民会館文化友の会、オンフルールの会

富山県民会館美術館 TEL. 076-432-3113 (平日8:30～17:00)
E-mail: soumu@kenminkaikan.com

院展

富山展



高島 圭史「星のふる古都」



西藤 哲夫「清流に集う」



佐野 正人「移りゆく季節の中で」



竹原美也子「おかあさんをお手本に」

日本美術院の主催する「院展」は、日本画の公募展としては国内最大規模を誇ります。

本展では、令和元年九月東京都美術館で開催された「再興第一〇四回院展」の出品作品二百九十九点の中から、同人作品をはじめとして、受賞作品、富

山県を含む北陸三県出身・在住作家の入選作品を中心に厳選された作品六十六点を展示し、今日の日本画の動向を広く紹介します。

日本美術院は、明治三十一年（一八九八）春、東京美術学校を退任した岡倉天心を中心に、同じく美術学校を退いた橋本雅邦、横山大観、菱田春草、下村観山ら二十六名を正員として創立された研究団体である。その後、春秋二回の展覧会と地方巡回展を行うとともに、機関誌「日本美術」の発刊や研究所での後進の指導に取り組むことになるが、経営難に陥り一時研究所を茨城県五浦に移転した。大正二年（一九一三）岡倉天心の死去を機に、翌三年（一九一四）大観、観山らが中心となり日本美術院を再興し、「芸術の自由研究を主とす。故に教師なし先輩あり。教習なし研究あり。」を宣言し、第一回再興院展を開催した。当初は、日本画部、洋画部、彫刻部の三部門であったが、洋画部は大正九年（一九二〇）に脱退、彫刻部も昭和三十六年（一九六二）に解散した。昭和三十三年（一九五八）には財団法人に、平成二十三年（二〇一一）には公益財団法人に機構を改め、現在に至る。



角野千佳子「うつろう」

主な出品作家 ★は富山県ゆかりの作家

下田 義寛★	小山 碩	伊藤 彰耳	田淵 俊夫	那波多目功一	手塚 雄二	福王寺一彦
梅原 幸雄	清水 達三	宮廻 正明	西田 俊英	松村 公嗣	大矢 紀	高橋 天山
吉村 誠司	村上 裕二	今井 珠泉	倉島 重友	清水 由朗	齋藤 満栄	小田野尚之
宮北 千織	大野 逸男	北田 克己	村岡貴美男	井手 康人	前原 満夫	中村 譲
國司 華子	薬谷 実	岸野 香	松本 高明	番場 三雄	高島 圭史★	山本 浩之
西藤 哲夫★	佐野 正人★	角野千佳子★	竹原美也子★			

イベント情報 (予定)

作品解説会	2月29日(土) 開会式後～	下田義寛氏(日本美術院同人・理事)、高島圭史氏(日本美術院同人)
ワークショップ(509号室) [日本画の技法]	3月1日(日) 午後2時～	高島圭史氏
	3月7日(土) 午後2時～	西藤哲夫氏(日本美術院特待)
ギャラリートーク(美術館)	3月14日(土) 午後2時～	高島圭史氏、石田めぐみ氏(初入選・石川県在住)、竹原美也子氏(日本美術院院友)、松下紅葉氏(初入選・石川県在住)



富山県民会館美術館

〒930-0006 富山市新総曲輪4番18号
TEL. 076-432-3113
E-mail: soumu@kenminkaikan.com